

## ダイアログ 08 Asking about prices 「値段をたずねる」

Target Expression: **How much** is this map of Australia?

(このオーストラリアの地図はいくらですか?)

### アクティビティ名: 「千円ぴったり! お買い物ゲーム」

学習者用ページにあらかじめ含まれている繰り返し練習や、パート分け練習の後に行ないます。

用意するもの: お店 3 件 (教室の机を 4 つ程度合わせてグループを 3 つ作る) 品物 (カードの表に品物を書く。また、裏に見えないようにポイントを書いておく。値段は書かない。) 品物の価格リスト、百円×10=千円分のお金×お買い物をする人数分 (画用紙等で作成)

お買い物をするグループ (以下 A グループ) とお店屋さんグループ (以下 B グループ) に分かります

A グループは各お店を回り、1 件につき 1 つずつ品物を買ひ、全部でぴったり千円になるようにします。品物には値段が書いておらず、価格リストを持っているのは店員さんだけです。そこで、店員においてある品物の値段をたずねて購入します。

A: Excuse me, how much is this?

B: It's ...yen.

A: I'll take it. (お金を渡す)

B: Thank you.

1 件目のお店では 1 つたずねるだけで買い物できるかもしれませんが (中には千円以上の品物もある) 2 件目、3 件目は自分の持っているお金と相談しなければいけないので、何度も店員さんに値段をたずねることもありえます。

A: Excuse me, how much is this?

B: It's ...yen.

A: Oh.... How about this?

B: It's ...yen.

A: I'll take it. (お金を渡す)

B: Thank you.

3 件のお店で買い物が終わった子から、店員さんと役割を交代します。

全員買い物が終わったら、席に戻ります。

まず各々千円ぴったりかどうか、価格リストでチェック。ちゃんと買い物できていたら 1 ポイント。シールを貼ったり丸をつけたります。拍手!

続いてカードを裏返します。書いてあるポイントがもらえます。最多ポイント獲得者は

誰かな？

また、全員揃わない、という可能性も出てきますが、品物を見せず、箱に入れるかカードの表に箱の絵、裏に品物の絵を書いて、最後にカードを裏返した時3種類揃っていたら勝ち！（全部衣料品、全部電化製品、全部おもちゃ、など）という方法もあります。揃わない可能性があるとは言え、揃った子が出たらとても盛り上がるでしょう。また、この場合、お店の人は最初から合うポイントを知っていて、うまく合うように勧めてもらう、という手もあります。会話が高度になる可能性もあるので高学年～中学生向きかもしれません。